

## AnyTran Desktop エディション比較

## 機能について

機能	概要/種類	AnyTran Desktop (Java)	AnyTran Desktop (Native) (2020/3/31 販売終了)
バージョン		7.0.0	4.12.2
サポートする文字コード	Shift_JIS	○	○
	JISコード	○	○
	EUC-JP	○	○
	IBM漢字	○	○
	JEF	○	○
	KEIS	○	○
	JIPS(E)	○	○
	ASCII + IBM漢字	○	○
	EBCDIC + JISコード	○	○
	UNISYS漢字 (LETS-J)	○	×
	UNISYS漢字 (JBIS)	○	×
	UTF-8	○	○
	UTF-16 (BE / LE)	○	○
	Shift_JIS-2004	○	×
	ISO-2022-JP-2004	○	×
EUC-JIS-2004	○	×	
サポートするEBCDICタイプ	カナ	○	○
	US	○	○
	日立	○	○
	NEC	○	○
	IBM CCSID 290	○	○
	IBM CCSID 1027	○	○
	MCPV1	○	×
	MCPV24	○	×
JIS X 0213:2004対応	JIS X 0213:2004の符号化方式 ISO-2022-JP-2004/Shift_JIS-2004/EUC-JIS-2004 及び Unicode 間で、相互に文字コードを変換	○	×
Unicodeのサロゲートペア対応	JIS X 0213:2004 の 2 面の文字の一部 (約 300 文字) を表現する Unicode のサロゲートペアに対応	○	×
対応フォーマット	CII (JIS-X7012; EIAJ, JPCA, HWSW, JTRN 等)	○	○
	UN/EDIFACT (JEDICOS, JAMA-JAPIA 等の各種サブセット含む)	○	○
	XML (流通BMS, ECALGA, RossetaNet, CEDI 等)	○	○
	CIF (ACSN)	○	○
	CSV	○	○
	固定長形式 (プラネット, JD-NET, E-VAN 等)	○	○
	可変長形式	○	○
マルチレイアウトファイル変換	複数種類のレコードで構成されるファイル (ヘッダ, 明細, トレーラ形式等) の変換や作成	○	○
レコードの種類	実レコードの出力は行わない「計算用レコード」	○	×
	他レコードの出力にて自身の出力可否を判断する「見出しレコード」	○	×
レコードの最大長	32,767バイト対応	○	○
	10,000,000バイト対応	○	×
レコードグループの種類	選択	○	○
	順不同	○	○
	振り分けグループ	○	×
項目グループの最大ループ回数	9,998回対応	○	○
	99,999回対応	○	×
項目タイプの種類	漢字IN状態で文字を解釈する「漢字文字列」	○	○
	バック形式の数値を扱える「バック仮想小数」「符号なしバック」「BCD整数」	○	○
	ゾーン形式の数値を扱える「ゾーン整数」「ゾーン仮想実数」	○	○
	文字コード変換の影響を受けない「バイナリ列」	○	○
数値表現	数値書式として桁区切り(3桁カンマ区切り)に対応	○	×
	通貨記号として円(¥)とドル(\$)に対応	○	×
ANY標準関数	文字列操作や数値操作等を行う関数の提供	○	○
採番機能	1つの変換内でシーケンス番号を採番する「インクリメントカウンタ」	○	○
	複数の変換内で一意のシーケンス番号を採番する「ユニークナンバー」	○	○
統計カウンタ	レコード件数や特定項目の合計値/平均値/最大値/最小値等を求めるカウンタ機能	○	○
ユーザ定義関数	ユーザが独自に作成した関数の組み込み	○ (Java)	○ (C++)
メモリ使用量低減機能	特定単位でファイルの読み書きを行う「読み込み単位」	○	○
	必要時以外はデータをメモリに配置しない「メモリ抑制グループ」	○	×
マスタ参照	キー、バリュウ形式のマスタファイルを扱える「変換テーブル」	○	○
	特定条件でファイルを検索する「レコード検索」	○	○
	より複雑な条件でファイルを検索できる「拡張レコード検索」	○	○
定義体出力	COBOL書式インポート	○	○
	ANY標準形式インポート	○	○
	ANY標準形式レコードインポート	○	○
	ANY標準形式エクスポート	○	○
	XML DTD書式インポート	○	○
	XMLスキーマインポート	○	○
	XMLスキーマエクスポート	○	○
	XMLデータインポート	○	○
変換定義情報をファイルに出力する機能	○ (Excel)	○ (CSV)	

## AnyTran Desktop エディション比較

## 環境について

	概要/種類	AnyTran Desktop (Java)	AnyTran Desktop (Native) (2020/3/31 販売終了)
バージョン		7.0.0	4.12.2
稼働環境(OS)	マップパー (AnyMapper)	Windows 11 Home / Pro / Enterprise Windows 10 Home / Pro / Enterprise  *1、*2、*3	Windows 10 Home / Pro / Enterprise  *1、*2、*3
	変換エンジン	Java実行環境は、JavaベンダーのLTS(Long Term Support)版JDKに対応します。また、JDK 8 は32ビット版と64ビット版、JDK 11 以降は64ビット版に対応しています。 OSとJDKの対応状況は、OSまたはJDKのベンダー公式サイトでご確認ください。  ■JDK 8 Oracle Java SE 8 Azul Systems Azul Platform Core 8 IBM Semeru Runtime 8 Adoptium Eclipse Temurin 8  ■JDK 11 Oracle Java SE 11 Azul Systems Azul Platform Core 11 IBM Semeru Runtime 11 Adoptium Eclipse Temurin 11  ■JDK 17 Oracle Java SE 17 Azul Systems Azul Platform Core 17 IBM Semeru Runtime 17 Adoptium Eclipse Temurin 17  ■JDK 21 Oracle Java SE 21 Azul Systems Azul Platform Core 21 IBM Semeru Runtime 21 Adoptium Eclipse Temurin 21  ■OS Windows 11 Home / Pro / Enterprise Windows 10 Home / Pro / Enterprise	Windows 10 Home / Pro / Enterprise  *1
稼働環境(その他)	クラスタ環境	×	×
	FT(Fault Tolerance)環境	×	×
	クラウド環境	×	×
	仮想環境	×	×
表示言語	AnyMapper の日本語/英語の選択	○	○
並列実行	複数変換の並列実行の可否	×	×
常駐化機能	変換エンジンをメモリ上に常駐化させる常駐化プログラムの有無	×	×
コード変換ユーティリティ (CodeConv)	文字コード変換のみを行うユーティリティの有無	○	○

\*1:64ビット版OSでは、32ビット互換モード(WOW64)で動作します。  
\*2:モダンUI及びタッチパネル操作には対応していません。  
\*3:英語OS+日本語版パッケージでの動作は保証していません。